

以文社

新刊のご案内

04月23日(取次搬入)発売予定!

カントの批判哲学と自我論

鈴木 文孝 著

本書、カントの純粹理性の誤謬推理について長年研究してきた著者による研究成果の要点をまとめたものです。近代哲学の自我論の基礎を築いたデカルトの形而上学的自我論からカントの批判哲学の自我論へ、つまり「精神」の概念から「超越論的主観」の概念へのパラダイム・チェンジの意義とその歴史的背景を解明した研究です。本書と全く同じ文章の英文を同時に掲載して1書にしたものです。

【著者紹介】

鈴木 文孝 (すずき ふみたか)

1940年静岡県生まれ。現在、愛知教育大学名誉教授。文学博士(筑波大学)。

著書:『カントとともに—カント研究の総仕上げ』(以文社、2009年)

『西洋近代哲学とその形成』(以文社、2013年)

『永井荷風の批判的審美主義—特に艶情小説をめぐって』(以文社、2010年)などがある。

【目次】

- 第一章 デカルトのコーギト一命題と彼の自我論の特性
 - 第二章 カントの合理的心理学批判と彼の超越論的自我論
 - 第三章 カントの合理的心理学批判と彼の自我論の存在論的側面
 - 第四章 カントの自我論とその歴史的背景
- 参考文献

英語版

〔付論〕素粒子の超伝導モデルについての哲学的考察

A5判 上製カバー装 232頁 本体価格:3,200円 (定価:3,456円)

希望陳列コーナー: 哲学

以文社 ISBN 978-4-7531-0323-2 C3010 本体価格:3,200円 (定価:3,456円)

帳合・番線	ご希望冊数	書名
		カントの批判哲学と自我論 鈴木 文孝 著

※指定配本の都合上04月16日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。

101-0051 千代田区神田神保町2-12 FAX:03-6272-6538 TEL:03-6272-6536 <http://www.ibunsha.co.jp/>

※4月24日発売予定の小社の書籍『人民とはなにか』ですが、大変申し訳ございませんが、製本等の都合上5月15日(金)に発売日が延びてしまいました。お手数や、ご迷惑をお掛けしますが、宜しくお願い致します。ご不明な点等ございましたらご連絡下さいませ。